

2026年3月19日

小学生が考えた「わこうっち」、「さつきちゃん」学校用品を商品化 和光市立広沢小学校 6年生と開発した 4 アイテムを数量限定販売 ～イトーヨーカドー和光店で3月21日(土)より販売開始～

株式会社イトーヨーカ堂（本社：東京都品川区、代表取締役会長兼社長：真船 幸夫、以下「イトーヨーカドー」）は、埼玉県和光市および和光市立広沢小学校の6年生と共同開発した、和光市イメージキャラクター「わこうっち」、「さつきちゃん」をデザインした「学童用ミニタオル」と「学童用コットン巾着」の計4アイテムを2026年3月21日（土）よりイトーヨーカドー和光店にて数量限定で販売いたします。

イトーヨーカドーは「地域のお客様の日常をより楽しく、豊かで、便利にすること」を掲げ、各店舗において地域と密着した店づくりを推進しています。本取り組みはその一環として、地域とのつながりを深めるとともに、子どもたちに実践的な学びの機会を創出し、地域の魅力を発信することを目的に、イトーヨーカドー、和光市、和光市立広沢小学校の三者連携により実現しました。

商品開発は、同校6年生の「家庭科～共に生きる地域での生活」の授業として実施されました。授業にはイトーヨーカドーの担当者も参加し、売場の写真やデータなどを交えながら、商品企画から販売に至るまでの流れや、売れる商品のポイントについて説明。児童たちは「誰が購入するのか」、「どのような場面で使用するのか」といった視点で議論を重ね、キャラクター使用のルールも学びながら、企画立案からデザイン制作まで主体的に取り組みました。

デザイン選定では、「新一年生が学校に持って行きたくなるか」といった利用者目線を大切にし、クラス内でプレゼンテーションや投票を実施。その結果、最も支持を集めたデザインが各クラスの代表デザインとして商品化されました。

また、商品に同封する台紙には、商品化には至らなかったデザイン案も掲載しています。児童一人ひとりの自由な発想や、完成に至るまでの試行錯誤の過程もあわせてお楽しみいただける内容です。

イトーヨーカドーは今後も、地域の魅力を発掘し、お客様の日常をより楽しく、豊かで、便利にする商品を提供し続けるとともに、地域との連携をさらに深め、新たな価値ある商品やサービスの開発に努めてまいります。



▲和光市立広沢小学校の授業風景

商品名：学童用ミニタオル（約20×20cm）
価格：700円（税込770円）
発売日：3月21日（土）から数量限定販売
特長：毎日学校で使用することを想定した、日常使いに最適なタオルハンカチです。手洗いや汗拭きなど学校でのさまざまなシーンで活躍します。



商品名：学童用コットン巾着（約27×20cm）
価格：700円（税込770円）
発売日：3月21日（土）から数量限定販売
特長：給食で使うランチクロス、お箸も入る大きめサイズ。使い勝手の良さが特長です。毎日の給食時間を快適にサポートするアイテムです。



イトーヨーカドー和光店 店長 石渡 小友理 コメント

イトーヨーカドー和光店は、地域密着の取り組みの一環として、和光市立広沢小学校6年生の皆さんと連携した企画を実施しました。本企画では、和光市立広沢小学校6年生の授業に参加させていただき、その中で児童のみなさんが子どもたちの視点で「新一年生が学校にもって行きたい」と思う学用品のデザインを考案しました。

自分たちが考えたデザインが実際の商品となり、店頭で販売されることは、貴重な学びの機会になると考えています。今後も売場や販売の場を通じてその学びを支援し、地域の皆さまとともに子どもたちの発想を形にする取り組みを進めてまいります。

《ご参考》

商品に同封する台紙では、惜しくも商品化には至らなかった児童たちのデザイン案もご紹介しています。

(タオルのデザイン)



(巾着のデザイン)



以上